丸山湿原群保全の会会報

（第 119 号）

発行日：平成 29 年６月 14 日　編集／発行：丸山湿原群保全の会

〒669-1211　宝塚市大原野字炭屋 1-1　西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061（今住）
E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com

梅雨に入りうっとうしい日が続きます・・・と言いたいところですが、**１日降っただけで梅雨の中休み。毎年このような表現が天気予報から聞こえてきます。**テレビに向かい「変だ！変だ！」とブツブツ言っていると、家族から変な目で見られます。

５月の田植え時期に少雨。梅雨時期（初期？）の中休み。**ため池に頼る旧型水田にとっては試練の日々が続きます。**圃場整備が済んだ田んぼでは心配ないようですが、そこでも水の分配で色々あるようです。**百姓にとって水争いは古来からの宿命です。**

西谷地域の雨不足は毎年のことなのですが、気温の上昇と相まってイライラが募ります。湿原の乾燥化も早まるのではと眠れぬ夜を過ごしています。３０℃越えも間近、体調管理にご注意を。

（今住　６月 12 日作成）

活動報告

★5 月 28 日（日）定期活動　９名で活動

【前回の残りササ刈り】

作業風景

前回半分しかできなかった歩道のササ刈りですが、今回は竹ポスト看板～駐車場（入り口）までを作業しました。**刈り払い機２台も活躍し、効率的な作業となりました。ただ、機械を使うとついつい夢中になって、なんでもかんでも切って（刈り取って）しまいます。手刈りの慎重さも大事にしていきたいと思います。保護するものを事前確認しマークする必要あり。**今回ではありませんが、道沿いのアリマグミ（RDB　C ランク）も２本刈り取られました。（現在再萌芽あり）刈り取りの回数と程度を調整したいと思います。まぁ昔の里山利用では何にも考えずやっていたので、問題はないのかもしれませんが、**守るべきものはしっかり意識していきます。**

刈り払い機初挑戦

歩道については、徹底した除草作業ではなく、**自然な雰囲気が残る作業にしていきましょう。**

【確認できた花】

【タンナサワフタギ】（耽羅沢蓋木）

歩道沿いササ刈り作業の近く、整備を考えていても手が回らない平場、たくさんのタンナサワフタギが咲いていました。いつもより多くの花をつけ（一度に咲いたのか？）、お花見が出来そうです。タンナは済州島（韓国）の古い呼び名（104 号参照）、沢を蓋するように咲いたのでしょうか？いづれにせよ湿った土地が好きな植物なのでしょうか？

満開のタンナサワフタギ

シロシタホタルガ幼虫

タンナサワフタギと言えばシロシタホタルガの幼虫がつきもの。居ましたいました。黒地に鮮やかな黄色と赤。美しいがこの色は警戒色。毒は持ってないと思っていましたが、ちゃんと調べると刺激に対して毒性のある粘液を分泌するそうです。それほど強い毒ではないようですが皮膚の弱い方はご用心。だから目立つところにいて、成虫も昼間飛び回れるんですね。葉を丸めて繭を作り蛹となるそうですが、私は見たことがありません。しかも、寄生蜂の餌食になることが多く、生きたままのエサと化すようです。なんとも寄生の世界は奥深い。

【トキソウ】（朱鷺草）

サギソウと並び称される割にあまり日の目を見ないトキソウ。やはり「日本種絶滅の鳥」のイメージだからだろうか？それともサギのように純白が日本人には好まれるのか。今年のトキソウはとても元気がいい。群落を各湿原で確認できます。まさしく朱鷺色。ピンクが日光に輝きます。サギソウと同じランの仲間。株数はサギソウより少ないようです。

トキソウ

サギソウのようにカウント調査したこともありません。環境省 RDB 準絶滅危惧種（トキソウ・サギソウ）ですが、地方の RDB ではトキソウが 46 都道府県で指定。サギソウは 43 都道府県で指定ですから、トキソウの方が数の減少が激しいのかも。なかなか探すのに苦労もしますが、ぜひ生のトキソウを見に来てください。第３湿原、第４湿原が観察しやすいと思います。次回の観察時まで咲いているか？？（６月 10 日の様子は４ページで紹介。）

咲きかけのトキソウ

【ツチアケビ】（土木通）

今年はイノシシの掘り返しで出ないのかと思っていたツチアケビが別の場所に出ていました。

ツチアケビ新芽（この画像のみ 10 日に撮影）

前回のササ刈りの際気づかないで頭を切ってしまったらしく、１本は先が切れています。しかし、株立ちしていてこれからの成長が楽しみです。菌従属栄養植物（以前は腐生植物と呼んでいた。）でトキソウと同じラン科。光合成をする葉や葉緑素を持っていません。ナラタケという菌と「ラン菌根」を作りそこから全栄養を得ているそうです。地下で起こっていることですがこれもやはり寄生。誰かに頼ることは決して悪いことではないと、教えてくれているようでほっとします。でも、相手を殺すことも多い･･･深く考えないでいきましょう。とにかくすごい！なぜこのスタイルをとるのかは？？？ですがこれが生物多様性なのでしょう。今後成長が楽しみです。

【キンラン】（金蘭）キンランも遅ればせながら柴の中から開花。駐車場付近で数年続けて咲いていましたが今年は出ず。入り口から少し入った柴を積んだ中に花を見つけました。貧弱な株だが逞しい。

キンラン（開花前）

★6 月 3 日（土）西谷小学校３年　環境学習　出前授業

授業風景

小学校３年生の環境学習で毎年丸山湿原をテーマにしていただいています。

第 1 回目は座学。土曜のファミリー参観を利用して保護者の皆さんにも丸山湿原の概要と魅力を伝えます。西谷に住みながら、丸山湿原を訪れた人は一人もいませんでした。地元だから来てほしいのですが、地元だから行かないのも現実でしょう。よくあることです。子どもたちはこれから３回のフィールドワークをします。少なくとも３回湿原を訪れることになり、そこから西谷の素晴らしさを知り、環境の大切さを学んで誇りにしてくれると嬉しいです。

今年は小学生だけでなく、中学生にも繋げる企画を予定しています。乞うご期待！

★6 月 10 日（土）定期活動

７名で活動（県広報を見て来られた一般の方　２名を含む）

定期基礎調査、巡回、ごみ回収、観察、外来種除去

目的	市内	市外
丸山	14	21
ハイキング	9	12
その他	3	1

来場者数　計 60 人

（竹筒ポスト人数）

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度	PH
入口	10：04	22.7℃		
視点場	10：54	27.2℃		
第３湿原	10：34	【21.0℃】	34.7.μS/cm	6.5
第１湿原	11：02	【25.0℃】	41.9μS/cm	7.0
第２湿原				

体調不良の方が出ましたので、第２湿原のデータは取れませんでした。その後体調は回復。

【意気投合】

集合時間に駐車場に集まると、すでに数台の車が止まっていました。また徒歩で湿原方向へ向かわれる方など、市の広報や県の広報の宣伝もあり、訪れる方が増えているようです。なかなか竹筒ポストには反映しないようですがまあいいでしょう。そこへまた 1 台の車。お弁当持参でご夫婦が。お声をかけると丸山湿原へ向かうとのこと。では一緒にとお誘いすると「ぜひ」という返事。奥様はかなり植物に詳しい方らしく、大変興味深く最後までお付き合いいただき、ラッキーだったと喜んでくださいました。三田にお住いの方だったので、「皿池湿原が今熱いです」とお伝えしておきました。「守り人」に参加してくれるかもしれませんよ。三田市さん期待してね。

【観察できた動植物】

【ササユリ】（笹百合）

名前の通りササによく似た葉のユリです。ササの中に紛れていることが多く、花が咲くまで中々気づきません。咲き始めると「歩く姿は百合の花」そのもの。

楚々として、また凛とした姿がたまらない。その美しさから盗掘が絶えないのも事実。美しいものは狙われます。ひどい場合は、根から。まず根付くことはないと思われます。絶対にやめましょう。

カタクリと同じように、花が咲くのに４年から６年の時を擁しています。その後は株の栄養状態によりますが毎年花をつけます。１株に５輪咲くことも。

【トキソウ】（朱鷺草）

第３湿原・第１湿原トキソウ

６月１０日の姿です。場所や日の当たり方で花の色が違います。**開花したものが多くそろそろ終盤に差し掛かっているようです。**

次は**カキラン**の時期が始まります。

ノハナショウブも咲き出していいころですが今年は目につきません。この花もヌマガヤやススキなどと混ざっているとほとんど気づきません。咲き出してあの紫に驚かされます。**花菖蒲の原種**だそうです。

ハッチョウトンボ♂

【ハッチョウトンボ♂】（八丁蜻蛉）

５月の末から確認していましたが、初見のブログには情けない画像をUPしてしまいました。**今年は全国的に早いようです。好天（農業者には悪天？）と高温が続いたためでしょうか。春の訪れが遅いとぼやいていたら、やはり調整が入ったのでしょう。**

名前の由来は「八丁味噌」と同じ愛知県岡崎市の「八丁村」からとか、シーボルトに送られた本（蘭訳）の紹介にある「矢田鉄砲場八丁目」（名古屋市）からとか諸説あり。いずれも愛知県の地名からの命名のようです。

世界最小クラスのトンボで約２㎝。目を凝らさないとキャッチできません。見つけたときの感動はひとしお。**あまりの小ささに驚きます。イトトンボの仲間には同じぐらいのトンボがいますが、ガタイのしっかりしたトンボの姿でこの大きさは何とも愛くるしい。**画像はアップなので普通のトンボ（赤いトンボですが赤トンボじゃない）に見えますが、**生で見ると「わお！ちっちゃ！」となります。**

６月末から７月中ごろがピーク。数は減ってきますが、８月末ぐらいまで出現すると思います。

【ヒョウモンエダシャク♂】（豹紋枝尺）

ヒョウモンエダシャク♂

名前の通り**豹紋柄のエダシャクガ。エダ＝枝。シャク＝尺。つまり枝に擬態する尺取虫がこの蛾の幼虫。幼虫は、主にアセビ（馬酔木）の葉を食べその毒をため込むそうです。**だから昼間でも天敵を恐れず余裕で暮らしています。**前述のシロシタホタルガやジャコウアゲハと同じですね。幼虫は毒を出さないようです。**しかしこの種の蛾（シャクガ）は時に大量発生し、害虫として相当嫌われているようです。有名なのが**ウメエダシャク**。幼虫は名前の通り、主に梅の葉を食い荒らす。農家や園芸家からは**「抹殺すべき害虫」と称されているとか。**

結構綺麗なんですがね。**シャクガの種類はたくさんあるようです。調べると面白いですよ！**

次回活動日　６月25日（日）７月８日（土）７月23日（日）

６月25日（日）は午前通常活動（観察？）　午後総会を行います。（１３：００～）

送付した資料を必ずお持ちください！

また欠席の方は、資料に同封された、委任状の提出をお願いします。

場所：宝塚市立自然休養村センター　　TEL：0797 - 91 - 0253

住所：宝塚市大原野字南宮２番地の７（消防署と郵便局の間です。夢プラザのほぼ向かい。）